

学校教育 目標	人間性豊かで、知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成
育成を目指す 資質・能力	学習習慣の確立と学力・体力の向上

	学力状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○ほとんどの教科、領域、観点で、多くの項目が大分県平均を超えることができたが、全国平均や目標値に到達できていない項目もある。 ○全体的に資料の読み取りや、説明して書く問題に課題がある。	学習状況について 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○記述問題の無解答率が高い ○低学力層の生徒割合が高いことから、学力層が二極化していると考えられる。 ○知識問題の正答率が高いが、活用問題の正答率が低い。
児童 生徒 の 課題	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○「daily project(一分前着席、一分間黙想、授業準備、授業集中)」を意識して授業に参加している。(97%) ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業(班活動)で考えを伝えようとしている。(95%) ○ICT機器を活用することが、授業や家庭学習の役に立っていると感じる。(96%) ○授業の中で「分かった」や「できた」を経験したことがある。(98%) ○先生方は、一人1台端末や電子黒板などのICT機器を使った分かりやすい授業をしている。(99%)	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ○「めあて」「振り返り」「課題」「まとめ」を明確にした(明中授業スタイルを意識した)授業展開100% ○教材や板書を工夫し、グループ活動を取り入れた分かりやすい授業づくりに努めている100% ○単元計画に基づいた低学力層生徒に対する支援のある授業展開(ユニバーサルデザインでもよい)に努めている97% ○ICT機器を活用して、分かりやすい授業づくりに努めている90% ○自分の授業で生徒に一人1台端末を活用させている77% 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ○「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」のプレートを作成、色分けについて周知し、授業内で活用するように伝えた。 ○各学年の実態に応じて朝学習を充実させる。読書の大切さを意識させつつ、教科の学習や社説などの読み取り活動などを行った。 ○デジタルドリルの教職員研修を行い、一人1台端末を活用した家庭学習例を示したり、宿題を出せるように教員内で情報共有を行った。	

学力に関する達成指標

- 「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業(班活動)で考えを伝えようとした生徒95%以上
○ICT機器を活用することが、授業や家庭学習の役に立っていると感じる生徒95%以上
○授業の中で「分かった」や「できた」を経験したことがあると答えた生徒95%以上
○低学力層(得点30%未満)の生徒割合15%未満、(得点40%未満の生徒割合)20%未満

今後の 具体的 な取組	【授業改善】 〈授業改善のテーマ・重点〉 思いや考えを伝え、協働して学び合う生徒の育成 ○「主体的な学びと意欲的な活動」を育む授業の創造 ○「9年間を見通した小中連携」のための一貫教育	【家庭・地域との協働】
	〈取組内容〉 ○「ICT機器の有効活用(効果的な学習支援)」 ○低学力層生徒への支援 ○明中授業スタイルの確立、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善 ○小中間互見授業の実施	〈家庭・地域の取組内容〉 ○家庭学習を自己調整して実施できる生徒の育成 ・家庭との連携を図る ・全職員での学習支援
	〈取組指標〉 ○明中授業スタイルやICT機器の活用を意識した授業展開(100%) ○教材や板書を工夫し、グループ活動を取り入れた分かりやすい授業づくり(100%) ○単元計画に基づいた低学力層生徒に対する支援のある授業展開(ユニバーサルデザインでもよい)(95%) ○自分の授業で生徒に一人1台端末を活用させる(85%)	〈家庭・地域の取組指標〉 ①教職員は、その日の家庭学習時間を確認すると同時に家庭で把握できるように学習ノートに記入させる。 ②課題を忘れた・困りを抱えた生徒に対して全職員で学習機会をつくるなどして支援する。
	〈検証指標〉 ○「聴く・考える・伝える」活動を取り入れた授業(班活動)で考えを伝えようとした。95%以上 ○ICT機器を活用することが、授業や家庭学習の役に立っていると感じる。95%以上 ○授業の中で「分かった」や「できた」を経験したことがある。95%以上 ○先生方は、一人1台端末や電子黒板などのICT機器を使った分かりやすい授業をしている。95%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 ①こどもの家庭学習時間を把握している家庭、教職員90%以上 ②こどもの家庭学習の習慣が身に付くような取組をしている教職員90%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○各学年の実態に応じた朝学習の充実。教科の学習や社説などの読み取り、書き取り活動などを継続して計画的に行っていく。 ○家庭と連携し、家庭学習時間を把握するとともに、家庭学習に自分なりの工夫をさせ、次の授業に生かせるような姿勢を育む。 ○デジタルドリルやロイロノートなど、一人1台端末を活用した家庭学習の指導を進める。	